



誇り



やりがい

使命感



西宮市消防局

職員は家族同然！
最高の仲間と
最高の人生に！

職員の声

Voice of staff

西宮市を守る

消防士になろう





消 防
女 士

NISHINOMIYA
change the Life
Fire Dept.



☆はじめに☆

西宮市消防局（以下、「当局」という。）は、約500名の職員が在籍しており、職員定数522名に向けて増員を図っています。特色として、職員の平均年齢が約36歳で、勤続10年目未満の職員が約4割を占めており、非常に若く、活気のある組織となっています。約48万人の市民（中核市）を守る組織であり、『有事に100%の力を出せなければ存在意義は無い』という思いで日々、訓練を行っています。

さらに、当局は阪神地区消防本部（兵庫県には4つのブロックがあります。）の代表消防本部という役割を担っており、阪神地区の先頭に立って消防事務を推進し、火災、救急、救助、予防等の知識・技術を向上できるよう取り組むなど、大きな責任を背負い日々業務を行っています。

さらに、採用されてから様々なキャリアがあるため、自身の目指すべき人物像に近づけます。『指揮隊』『高度救助隊』『特別救助隊』『警防隊』『救急隊』『はしご隊』『予防技術資格者』『救急救命士』など多くの分野で、役割や資格があり、市民の安全・安心のため、それぞれが熱い思いを持ち活動しています。

また、当局は積極的に国や県等の他機関へも職員を派遣しています。実績としては、『総務省消防庁消防大学校』『総務省消防庁消防研究センター』『兵庫県災害医療センター』『兵庫県消防学校』『兵庫県消防防災航空隊』などに職員を派遣しており、あらゆる分野の最前線で活躍し、最新の知識・技術を習得しています。

採用されてから様々な選択肢の中から自身の進むべき道を定め、高み（目指すべき人物像）を目指すことができる組織です。

最後に、当局には、ここには書ききれないほどたくさんの魅力があります。是非この機会に『職員の声』を最後まで読んでいただき、職員の温かさ、職場の生き生き度、雰囲気などを感じていただければ幸いです。

西宮市消防局職員一同



西宮市消防局 職員の声

災害対応力向上のため
県消防学校レベルの訓練施設を保有！
プロ中のプロを目指せる！

最新の庁舎に随時建替え！良い職場環境！

西宮市消防訓練センター

潜水プールもあります

西宮市消防局には 多くの魅力があります！

「高度救助隊SENSR（愛称：センサー）」
という特別なチームのロゴ



あらゆるキャリアを目指せる！



職員は家族同然！



西宮市消防局 職員の声



期待と信頼に
実践で応えたい

兵庫県消防防災航空隊
神戸市消防局航空機動隊

階級：消防司令

平成17年度入庁。令和4年度より現職。
西宮市から兵庫県と神戸市に出向し、3つ身分
を併任して勤務しています。
マイブームは釣りで、休日にはブリやサワラを
狙って戦っています。

管轄は兵庫県全域！

Q. 航空隊はどんな隊ですか？

ヘリコプターに乗って活動する部隊で、基地は神戸空港にあります。

兵庫県内各消防本部からの派遣隊員（7名）と、神戸市消防局の職員が共同で運航しています。

操縦士、整備士、そして救助隊員（救急救命士含む）が、一丸となって人命救助に取り組む瞬間の集中力、そしてそれを成し遂げるチームワークが強みです。

過去5年の年間平均出動件数は約450件で、兵庫県内全域に出動しています。



休日は釣りを満喫！

経験と思いを大切に！

Q. 希望の仕事はできますか？

西宮消防を受験する時から、目標は専任救助隊（現高度救助隊）に入ることでした。

私の場合、警防隊、救急隊、予防担当、特別救助隊、総務課等を経て、11年目によりやく高度救助隊に入隊。その後、特別救助隊長、高度救助隊長を担いました。

新人の頃、ある先輩が、「置かれた場所で咲きなさい」と教えて下さったことが、様々な部署で頑張る原動力でした。結果、経験した全てのことが力になりました。

なお、自分の希望（配属部署等）を提出する自己申告制度があるので、活用することも一案です。

安全を誓う見送り！

Q. 仕事で好きな瞬間は？

出動する際、ヘリコプターに乗っている隊員と、基地で見送る隊員が互いに手を振ります。

ただの見送りですが、「必ず無事に帰ってこいよ！」「絶対元気に帰ってくるよ！」という強い意志を持って手を振っています。

要救助者だけでなく、仲間も無事に帰ってくる。そして、家族の待つ家に、元気な姿で帰ることが、一番大切だと考えています。



先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声

もっと前に、もっと先へ
命を助けるために。
きみの夢中が、
人を助ける。

西宮消防署 高度救助隊 隊長

階級：消防司令

平成15年度入庁。
警防隊、指揮隊を経て、平成29年度より現職。
趣味はトレーニング、映画鑑賞。
休暇を取得して、家族でUSJへ。私だけ「フライング
ダイナソー」には怖くて乗れませんでした（笑）

体育会系ではありません。

Q. 職場の雰囲気は？

普段は規律正しい現場活動などを行っています。24時間勤務で職員同士、過ごす時間が多いので、寝食を共にすれば絆が強くなります。

また、コミュニケーションがきちんと取れる時間がありますので、信頼関係もしっかりと築かれています。チームワークが支えになるから、生き生きとした雰囲気の職場です。



休暇を取得し、家族で
USJへ行きました。

信頼される存在

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

現在、高度救助隊の隊長をしています。

高度救助隊は人命救助を担当する精鋭部隊です。火災、交通事故、水難事故、山岳事故などあらゆる災害現場で活躍しています。

消防は人を助ける専門の公的機関で頼りにされる存在です。我々にしかできない人命救助を達成できた時にやりがいを感じます。

今持っている力を「もっと前に」「もっと先へ」成長する気持ちを今でも持っていることは、自分自身の成長、やりがいを本当に感じているからだと思います。

人への投資に注目

Q. 就活生へメッセージはありますか？

西宮市消防局では「人への投資」に力を入れています。私自身、東京を始め、九州などへ研修のため出張し、最先端の知識・技術を身に付けることができました。今は隊長として若手隊員の育成に励んでいます。

自分の成長が実感できる西宮市消防局で、「夢中」になって私たちと訓練に励み、そして、共に要救助者を助けましょう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声



日々、やりがいを感じる
ことができる一生の仕事

北消防署 山口消防分署 警防係
階級：消防司令補

平成17年度入庁。
現在は、指導的立場の救急救命士として主に
救急業務を担っています。
趣味は、勉強、ツーリング、読書、料理。
休日は家族で外出が多く、最近はキャンプに
はまっています。

消防士の姿に憧れを抱く？

Q. この仕事を選んだ理由は？

災害時に活躍する消防士の姿を見て憧れを抱いた！等、素晴らしいきっかけは私にはありませんでした。

昔から、チャレンジより安定を求める性格であったため、正直学生の頃から公務員になれたらいいかな一程度でした。（もちろん面接では、相応の志望動機は言っていたと思いますが、、笑）

きっかけは、母が見つけた市政ニュースでの【消防吏員募集！】でした。



キャンプの様子です。
子どもと一緒に朝ごはんを作っています

やりがいは一生感じられる

Q. 仕事をしていてどのようなときに、「やりがい」を感じますか？

市民の方々に感謝されることにやりがいを感じることはもちろんですが、研修や訓練で培ってきたことが、現場活動に生き、実(市民の方の利益)になることが、私のやりがいの多くを占めています。

救命士はベテランであっても常に医療知識や技術の更新、向上が求められ、日々の研修訓練は欠かせません。

年々、救急救命士に対する世の中の期待を肌で感じ、重責がある分、常にやりがいを感じることができる素晴らしい職業だと自負しています。

消防士の自分を想像する

Q. 就活生へメッセージはありますか？

消防士が活躍するのは、常に人がピンチな場面です。ピンチに駆け付けるヒーローが自分だと想像してみてください。かっこ良くないですか？

現在、消防職にあまり魅力を感じていなくても私のように、入庁後でも十分魅力を感じることができ、やりがいのある一生の職業だと感じることができると思います。

自分や家族、大事な人の一大事に、来てほしいと思える消防隊、救急隊と一緒に目指し、西宮市消防職員として、共に成長し、市民の方々のヒーローになりましょう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声

人との出会いを大切にし
「やりがい」を自ら見出す

瓦木消防署 甲東消防分署 予防係
階級：消防司令補

平成17年度入庁。
各消防署で警防隊、予防担当を経て令和4年度より現職。平成21年には西宮市消防音楽隊に入隊。音楽経験未経験ながら持ち前の「明るさと努力」で人前で演奏ができるようになる。趣味は音楽隊入隊と同時に音楽となり、最近では新たに卓球を始め、公私共に充実した毎日を過ごしている。



消防士の姿に憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

幼いころに実際の火災現場に遭遇し、燃え盛る家屋の中へ消防士達が進入し要救助者を救出する瞬間を目の前で目撃し、「自分もこんなふうになりたい！人の役に立ちたい！」と思ったのがきっかけです。阪神淡路大震災の時は中学生で、当時祖母が住んでいた西宮市に支援に行ったときに被災地で活動する消防士の姿に感銘を受け、消防に対する憧れが自身の一生の仕事にしたいという思いに繋がりました。



防火指導中の様子です。学校や事業所に対し火災の恐ろしさや避難時の注意点を説明しています。

人との出会いが自分を変える

Q. 今の仕事に「やりがい」を感じますか？

私は火災現場で活躍する救助隊に憧れを持っていましたが、災害現場を経験するうちに「消防が活躍するところに市民の笑顔はない」ということを痛感しました。当時の上司からは「本当の消防は火災をなくし安全な街を作ること」「市民がみんな笑顔で防火について学べる広報が大切だ」ということを指導していただき火災を予防する業務を志すきっかけになりました。消防設備の指導も大事な業務ですが、私は今、火災を予防する「防火広報」に非常にやりがいを感じています。消防音楽隊での広報活動や各種団体に対し火災の恐ろしさを教えることにやりがいを感じています。

仕事のやりがい

Q. 就活生へメッセージはありますか？

どんな職種であっても仕事のやりがいは必要だと思います。「災害現場で救助活動したい！」と思っていた私が様々な経験や上司との出会いにより考え方を変え、今自分が一番やりたい仕事に情熱を傾けることができます。未経験であった音楽も少しずつ楽しむことで立派な仕事としてとらえることもできます。就活生の皆さんはこれから社会人としてたくさんの経験や出会いがあると思います。その中で今持つ考えが変わったり、仕事に対する考え方を考えることは良いことだと思います。「仕事のやりがい探しの旅」を西宮消防と一緒に探しましょう！

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声



西宮消防署 警防救助係

階級：消防司令補

平成21年度入庁。
警防隊、救助隊、警防課を経て、令和4年度より現職。
出身～大阪府 趣味～子どもと遊ぶ、ゴルフ
毎年、家族で富士山へ旅行に行くのが楽しみ。

現場活動にも色んな役割

Q. 現在はどんな仕事内容？

警防隊として、火災現場での活動や原因調査のほか、特殊災害対応支援車や化学車、はしご車の小隊長を主にしています。

過去には救助隊をはじめ、戦術の研究改善や部隊の運用を計画する本部指揮隊の業務を経験しました。

現在は、西宮市消防局の中でも、最も多くの車両や資器材を運用している警防隊として、日々、訓練に励んでいます。



こどもの運動会でかけっこ
メダルに大喜び！

自分らしさをチームに還元

Q. 仕事をしていて、どのよう
なときに「やりがい」を感じ
ますか？

私が勤務する消防署は、運用する車両や資器材と同じように、数多くの警防隊員が在籍しており、性格や年齢、キャリアも人それぞれ。

様々な個性を理解しながら、一つの目的に向かって皆で汗をかき、チームの活動を研ぎ澄ませます。そんな日々の努力が「市民のために」という目的につながった時にやりがいを感じています。

市民と仲間の安全を守るため、私自身も負けられない！と他の職員からモチベーションをもらっています。

一歩踏み出す勇気を持って

Q. 就活生へメッセージはあり
ますか？

分からない世界に飛び込む時は、希望と不安が入り混じります。

でも大丈夫。時には親身に、時には陰ながら、あなたを支えてくれる多くの先輩職員に出会うはずですよ。

はじめは誰もが未経験。皆さんの個性が生かせる分野が必ずあります。

また、西宮市は福利厚生も充実していて、家庭と仕事を両立できる環境が整っています。

皆さんと働ける日を楽しみにしています！

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声

安全・安心な
暮らしを守りたい

警防部 予防課 指導係

階級：消防司令補

平成21年度入庁。
予防係、警防隊、機関員を経て、令和2年度より現職。
趣味は 料理、ドライブ、映画鑑賞
休日は、家族でお出かけするのが楽しみ。

好きな街で仕事がしたい

Q. この仕事を選んだ理由は？

幼いころから憧れの職業だったということもありますが、自分の生まれ育った街で人の役に立つ、地域に根差した仕事がしたいと思ったのが一番の理由です。

自分の好きな街でずっと仕事ができるというのも消防の魅力の一つだと思います。



休日、子供たちと水族館に行ったときの様子です。

縁の下の力持ち

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

現在は、予防課指導係で消防同意事務とあって、主に新築建物の防火に関して法令に適合しているか審査し、消防用設備等の設置指導を行っています。

私の仕事に派手さはありませんが、火災を未然に防いだり、もし火災が起きたとしても建物利用者が安全に避難できるように指導することで建物の防火安全性を向上させる、縁の下の力持ちのような存在です。

法令を遵守させる上で困難な場面もありますが、建物の設計段階から携わり、自分が指導した建物が市内に建設されていくことにやりがいを感じています。

あなたの魅力を生かそう

Q. 就活生へメッセージはありますか？

消防の仕事は現場活動に加え、火災を予め防ぐ予防、通信指令、広報など多岐にわたりますが、どの仕事も人との関わり合いがあり、一人では成り立ちません。

消防の仕事をしていく上で大切なことはチームワークであり、コミュニケーションだと思っています。

人との関わりを大切にし、今しかできない出会いや経験を積んで、あなただけの魅力や強みを身に付けてください。その経験が消防士になってから必ず生きてきます。

あなたと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声

市民を助けたい
その思いで成長できた

総務省消防庁 消防大学校 助教授

階級：消防司令

平成11年度入庁。
救助隊、救助隊長、高度救助隊、警防隊を経て、令和4年度より現職。
趣味は、家族旅行、キャンプ、ボランティア活動
(火災・ロープレスキュー)



使命を全うする

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

救助隊のオレンジに憧れ、消防士になり、22年間救助隊として様々な現場に出動してきました。その経験を生かし、消防大学校では、救助担当として、全国の救助隊の幹部候補生をサポートしています。大きく成長して卒業する学生を見るたびに私自身も成長させていただいており、ともに成長できたことにやりがいを感じています。



東京に行く前に、家族が送ってくれたメッセージカードです。

日本消防の発展のために

Q. 今後の目標は？

消防大学校には、年間約1,600人の学生が入校してきます。日本消防の成長のために、自分の経験を生かし、現状維持ではなく、さらに発展できるように微力ながら貢献していきたいです。そして地元に戻った際は、消防大学校で学んだ知識技術を生かし、西宮市、阪神間、兵庫県の消防の成長のために還元していきたいです。

また2年間サポートしてくれた家族に感謝し、キャンプや旅行を一緒に楽しみにしながら恩返しをしていきたいです。

一人でも多くの命を救いたい

Q. 就活生へメッセージはありますか？

西宮市消防局は、市民や助けを求めている人のために頑張る職員をきちんと評価してくれる職場です。

また消防大学校をはじめ、職員の人材育成のために、様々な機関や訓練に派遣しています。キャリアアップは自分次第！必ず新たな自分をみつけることができる職場です。

一緒に働ける日を楽しみにしています。



先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声



瓦木消防署 警防救助係 階級 消防士長

平成22年度入庁。
警防隊を経て、平成27年度より現職。
趣味はトレーニング、サーフィン。
最近5歳の息子もサーフィンデビューしました。

スーパーヒーローが憧れ

Q. この仕事を選んだ理由は？

幼少期の頃、漠然とテレビに出てくるスーパーヒーローに憧れていました。小学生になった時、いつしかスーパーヒーロー＝消防士のレスキュー隊と思い始めて、将来何の職業に就きたいの？と聞かれれば、消防士と答えていました。その夢は、大人になっても変わることなく、現在に至ります。



サーフィンデビューを果たした5歳の息子。

ワークライフバランス

Q. 休日やプライベートの過ごし方は？

現在、私は交替制勤務で働いています。交替制勤務となれば、平日が休みになることも多々あり、家族や趣味に多くの時間を使うことができます。これらの時間を活用して、趣味であるトレーニングやサーフィンに没頭しています。

また、同時期に入庁し、苦楽を共にした、消防学校の同期達と食事に行ったり、旅行するなど、仕事以外の時は、プライベートをいかに思いっきり楽しむかということを考えています。

自分らしさを大切に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

ワークライフバランスを重要視したい。「ON」と「OFF」の切り替えをきっちりしたい。他人の役に立ち、しっかりとやりがいを持てる職に就きつつも、休日やプライベートは、自分の好きなことに時間を費やしたい。という方にもってこいの仕事です。

私は救助隊として勤務していますが、消防職の中には多種多様な業種があり、必ず自分に合ったものを見つけることができます。

一緒に西宮市消防局で働ける日を楽しみにしています！

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声



個人の成長の先に未来はある。

西宮消防署 北夙川消防分署 警防係

階級：消防司令

平成20年度入庁。
警防隊を経て、令和4年度より現職。
元農協職員から転職して消防士となりました。

西宮市と共に成長する

Q. 西宮市を選んだ理由は？

私は、小学生から野球を続けており、やはり高校野球の聖地である甲子園の印象が強くありました。その甲子園がある西宮市が平成20年4月から中核市となることに加え、消防職員を増員することを知りました。組織基盤を強化して、今後どんどん発展していく消防本部だと考え、受験しました。現在も更なる増員を図っており、より強い西宮消防へと発展させていきたいと思っています。



全員無事に生還する

Q. 目指しているものは？

消防司令となり、現場では小隊長として、部隊の統制、活動を指揮しています。消防士はやはり、危険と隣り合わせの仕事であると思っています。どのような仕事でも危険は伴いますが、消防士は初めて出向く災害現場で最高の結果を求められ、危険のレベルも高くなります。そのような現場でもイレギュラーがなく、シンプルかつ安全に活動し、要救助者とともに隊員全員が無事に生還する。当たり前のことが当たり前に行える部隊を目指して日々訓練しています。

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

皆さんは今もそれぞれ、学校生活や就職試験の勉強に頑張っておられる事と思います。消防士になると、消防士としてのスキルは自然と身につけていきます。もちろん仕事なので。私の経験として、それ以外のコミュニケーション能力、社会人としてのマナーなど世間では当たり前と言われる感覚は、自分の視野を広く持ち、低くても色々なアンテナを立てて、キャッチしていかないといけないと感じています。これらの感覚は、実は消防士になってからも様々な場面で生きてきますので、就職活動と併せて、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声



市民を守るために
できることを考える

警防部 警防課 調査係

階級：消防士長

平成23年度入庁。
警防隊、救助隊を経て、令和4年度より現職。
趣味は銭湯で汗を流すこと。
家族旅行に行くことが楽しみ。

憧れを抱く

Q. この仕事を選んだ理由は？

学生時代に所属していた野球部の先輩が消防士になったことがきっかけとなり、「消防」という仕事に興味を持ち、目指すようになりました。



キャンピングカーで家族
旅行に行ってきました

敵を知る

Q. 今後の目標は？

全国的に火災件数は減少していますが、「電気火災」の割合は高くなっています。

電気は、直接人間の生活に関わってくるため、電気に関する知識を高め、火災原因の究明と類似火災の予防に役立てることを目標として頑張っています。



IHクッキングヒーター
を分解し内部構造を勉強中

自分を知る

Q. 就活生へメッセージはありますか？

消防と聞くと火災現場で消火活動をしているイメージがあると思いますが、消防の業務は多岐にわたります。大きく分けて、予防、警防、救急、救助の分野があり、私は、予防や警防業務に関係する調査係として、火災の原因と損害の調査に関することを主な業務内容としています。

自分に合う消防の仕事を見つけられるように、「自分を理解」し、様々な業務に興味を持って取り組み頑張ってみてください。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声



市民を助けたい
その思いで成長できた

警防部 警防課 整備センター

階級：消防司令補

平成20年度入庁。
警防隊、救助隊を経て、平成29年度より現職。
趣味はスノーボード、スポーツ観戦。
休日は子ども達と外で遊んだり、ネットゲームを一緒にしています。

消防士の姿に憧れを抱く

Q. 消防士の魅力は？

しんどいことや辛いことがある仕事ですが、市民の方から「ありがとう」と感謝されることが一番の魅力だと思います。

また、比較的休みが多いので、プライベートで趣味も楽しめます。



整備作業中の写真です。

感謝の言葉が原動力

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

現在、整備センターという部署で消防車、救急車の整備をしています。

消防士の仕事は、消防車、救急車が災害現場に到着して初めて活動ができます。

車両が故障なく正常に稼働し、現場に向かう隊員達が安心して活動できるよう努めており、そこにやりがいを感じています。

自分らしさを大事に

Q. 就活生へメッセージはありますか？

西宮市消防局の消防士の仕事には、火災現場等で活躍する隊員の他にも、市民からの通報を受けていち早く消防隊を出動させる指令業務、火災を未然に防ぐため、建物の指導を行う予防業務、現在私が所属している車両整備業務等色々な部署の仕事があります。

自分の特性にあった業務が見つかると思います。一緒に頑張りましょう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声

あなたにピッタリの仕事が
きっと見つかります。

警防部 指令課 指令係

階級：消防士長

平成24年度入庁。
警防隊を経て、令和元年度より現職。
趣味はゴルフ。

直感を信じて消防士に

Q. この仕事を選んだ理由は？

平成23年に「東日本大震災」が発生した際に、テレビ等の報道で被災地にて活動する消防職員の姿を見て「消防」という仕事に興味を持ちました。また、直感的に「自分に向いている仕事かもしれない」と感じました。当時私は就職活動中でしたが、特に志望する分野もなく悩んでいたため、直感を信じて消防職員を目指すことにしました。



ゴルフのラウンド中に
野生の鹿と遭遇しました。

感謝の言葉が原動力

Q. 仕事をしていて、どのようなときに「やりがい」を感じますか？

消防職員となった当初は右も左もわからないような状態でしたが、先輩や同僚達に助けられながら今年で勤続11年目となりました。これまで様々な災害現場を経験し、たくさんの市民の方々から感謝の言葉を頂きました。

業務に邁進することでたくさんの方々から感謝してもらうことができるというのは大変喜ばしいことであり、消防職員として働くうえでの大きなやりがいとなっています。

きっと見つかります

Q. 就活生へメッセージはありますか？

消防業務には様々な業務があるため、あなたがやりがいを感じることでできる業務にきっと出会えることができます。

また、「自分が一人前の消防士になることができるだろうか」と不安を抱く方もいるかもしれませんが、教育環境がしっかりと整備されているため何の心配もありません。

福利厚生も充実しているのでワークライフバランスの観点から就職先を選ぶとしても消防士はおすすめです。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！



西宮市消防局 職員の声

目標を強く持って
日々進歩

鳴尾消防署 浜消防分署 警防係
階級：消防士

平成28年度入庁。
警防隊として2署を経て、令和2年度より現職。
奈良県出身。趣味は野球、旅行、映画鑑賞。



仕事と私生活が充実

Q. 消防士になってよかったことは？

消防士になってよかったことは、自分の力で人を救うことができることです。普段の訓練で培った知識や技術を災害現場で生かし、市民の命や財産を守ることができたときはとてもやりがいを感じました。また、消防士は24時間勤務のため、身体的に負担がかかる反面、勤務時間以外には趣味など自分の時間が確保しやすいところが特徴です。私の場合、旅行が趣味なので、平日に妻と旅行を楽しんでいます。



訓練中の写真です。

豊かな人材と充実した環境

Q. 西宮市消防局はどのような消防局だと思いますか？

西宮市は北に六甲山系、南に大阪湾と自然豊かな地域で現在約48万人の市民が生活しています。そのため、山岳事故や水難事故など様々な災害に対応する必要があります。そのため、日々訓練や研修に取り組んでいます。そして、西宮市消防局には優れた消防車両や消防資器材があり、阪神地区で唯一保有する消防訓練施設もあります。恵まれた環境に感謝し、知識・技術の向上に励んでいます。また、豊かな人材が集い、目標意識の高い職員が非常に多い組織です。目標達成のため、積極的に研修や資格取得など、自己研鑽に励む職員が多いと思います。

あらゆる災害に対応

Q. 今後の目標は？

私の目標は2つあります。1つ目は短期目標として「救助隊として活躍すること」です。現在、私は警防隊・救急隊を担当しています。警防業務や救急業務はとても魅力的でやりがいを感じることができる業務であると思います。しかし、消防士を目指すきっかけとなった救助隊になるのが私の目標の1つです。2つ目は長期目標として「あらゆる災害に対応できる消防職員になる」ことです。災害現場は想定外がたくさんあります。しかし、経験や訓練などを通して、想定外を想定内にするには可能です。市民のために日々の業務に全力で取り組んでいきたいと思っています。

先輩のインタビューをもっと見たい方は
西宮市消防局ホームページへ！！

